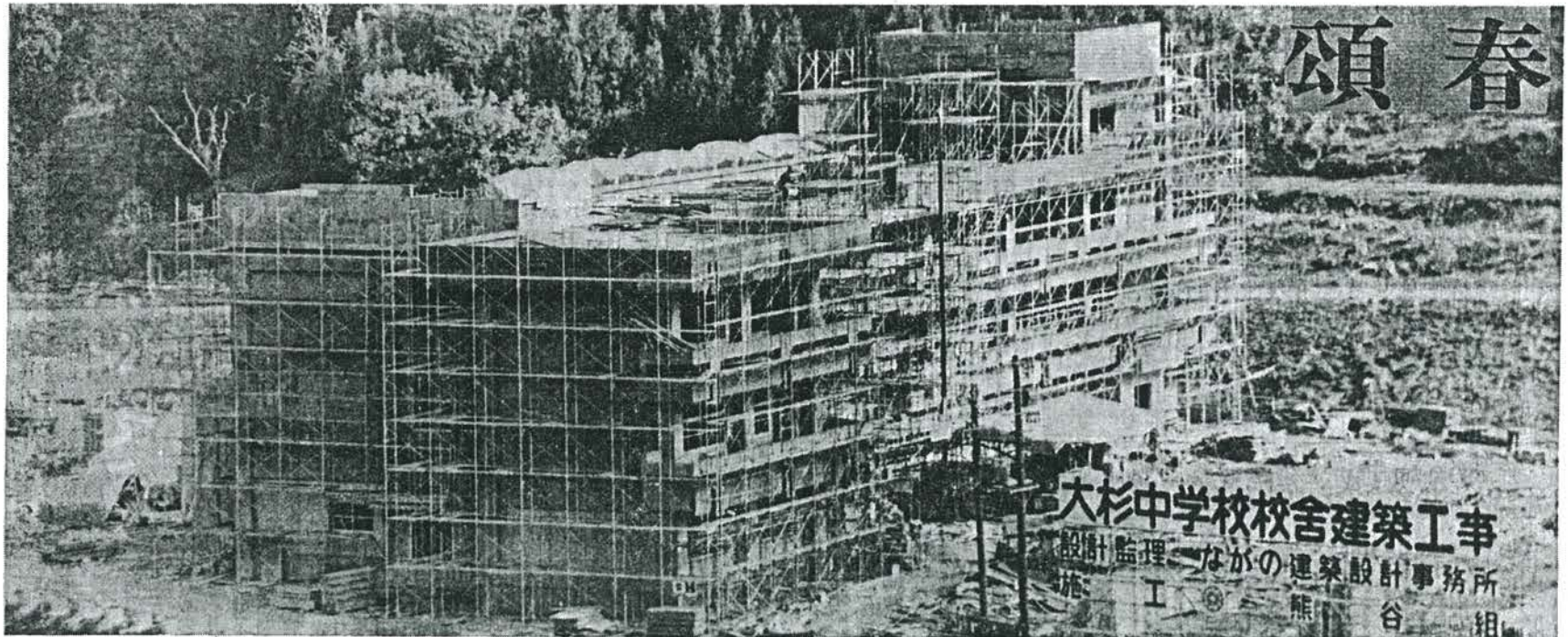


紀元 2639年
西暦 1979年

大豊

館報

昭和54年元旦



大杉中学校校舎建築工事
設計監理 ながの建築設計事務所
施工 熊谷組

つちのと ひつじ
己未

あらたまの校舎成りゆく明けの春 俳壇会小川みや

2月15日完成をめざして建設の鐘音ひびく

(大杉中学校本校舎・三階建延 1,956㎡)

21世紀への繁栄をめざして

百年の大計を樹立 防災の町づくりへ

大豊町長 門田盛一郎



輝かしい昭和五十四年の新春を迎えるにあたり、町民の皆様にご挨拶申し上げます。昨年中は皆様方の一方ならぬご指導・ご鞭撻をいただき町行政を推進することができました。心から厚くお礼を申し上げます。

国景気浮揚策の一環として、公共事業に対する財政投資が認められた結果、町道を中心とする道路開設は急ピッチで進み、また大杉中の改築、岩原、落合、立川等における公的施設の整備もお陰様で推進することができました。地域住民の多様なご要望でありました岩原赤根、佐賀山で国道の直轄砂防事業が開始され、式岩架橋も実現の見通しとなりました。心から厚くお礼を申し上げます。

理びとなりましたので、これを契機に保健医療体制に万全を期する所存であります。二二世紀に向けての大事業である四国横断自動車道の用地買収も開始されます。とりましては大変な年になるろうかと存じますが、本町にとりましては世紀の事業に對する百年の大計を樹立し、地域整備振興に一層の努力を要する重要な年でもあります。また、統一地方選挙を迎える重要な年であることも十分認識し、積極的な行政の推進に取り組んで参る決意であります。終わりに、町民の皆様への限りないご繁栄を祈念致しまして新年のご挨拶と致します。

将来に明るい展望のきざし

町勢の進展を

大豊町議会議長 畑山善郎



昭和五十四年を迎えるにあたり、町民の皆様と共に新春の慶びを分かち合い、今年こそ町政の上においても新しい決意を固め、実行への第一歩を踏み出すべき年であると存じます。特に今年には選挙の年であり、町民の皆様が四年に一度行使する

選挙権の行使は、町民の政治参加の重要な機会であり、町政の発展に大きく貢献するものと存じます。また、統一地方選挙を迎える重要な年であることも十分認識し、積極的な行政の推進に取り組んで参る決意であります。終わりに、町民の皆様への限りないご繁栄を祈念致しまして新年のご挨拶と致します。

以上所信の一端を申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新有権者感想文の募集について
一、応募内容と題
成人を迎えた者または迎える者の新有権者としての感想、または選挙を経験したことなどにより地方自治や国政への参加について感じたこと。
二、字数、二〇〇〇字以内、締め切り
昭和五十四年一月三十一日
三、最優秀 一篇、自治大臣賞状、副賞五〇、〇〇〇円
四、入賞 五篇、自治大臣賞状、副賞各三〇、〇〇〇円
五、佳作 若干、明るい選挙推進協会会長賞状、副賞各一〇、〇〇〇円
六、発表
昭和五十四年三月下旬
七、応募資格
昭和三年一月一日から昭和五十四年十二月三十一日までの間に生まれたもの
八、主催
自治省、明るい選挙推進協会
九、お問い合わせは
大豊町選挙管へお尋ね下さい。

生涯教育の推進に努力

大豊町教育長 秋山司



輝かしい一九七九年の新春を迎え、謹んで年頭の

ご挨拶申し上げます。皆様からのご指導・ご鞭撻をいただき、今年こそ町政の上においても新しい決意を固め、実行への第一歩を踏み出すべき年であると存じます。特に今年には選挙の年であり、町民の皆様が四年に一度行使する

選挙権の行使は、町民の政治参加の重要な機会であり、町政の発展に大きく貢献するものと存じます。また、統一地方選挙を迎える重要な年であることも十分認識し、積極的な行政の推進に取り組んで参る決意であります。終わりに、町民の皆様への限りないご繁栄を祈念致しまして新年のご挨拶と致します。

座談会

主権意識を燃やそう
住民参加の町づくり

司会」明けましておめでとございます。昨年は公民館活動を通じて大変お世話になりました。「住民自治の町づくり」つまり連帯感のある新しい地域社会——コミュニティづくりということで、昨年制定された「町民憲章」を軸に地区別研修会や住民大会、各種会合などで町民の方々と共に勉強してもらいました。が、新しい年の抱負とか課題など大豊町民としてどのように考えておられるのか、お聞かせ願いたい。

実験を生活学校で調査し、ゴミ袋に名前を記入する運動をとおし、既成の八千袋に氏名欄の大きなゴム印を押してみんなの協力と呼びかけてきました。燃えるゴミと燃えないゴミ、あるいは粗大ゴミなどが婦人会活動の一環として家庭でちゃんと分別されれば、私達の税金である町のゴミ処理予算が、他の面で有効に生かされる。

合で、町政県政に参加する
四年に一度のだいじな年
です。

司会Ⅱそうですね、過去
三年間婦人会の皆さんが中
心になって十二地区公民館
単位に研修会をもたれ、生
活課題や地域課題について
学習されてきたんですが、
昨年は三月に「町民憲章」
も制定され、住民主動型の
町づくりー新しい時代の地
域社会づくり(コミュニテ

です。理論的に話してはわかりにくいことも、方言を交えた親しみやすい劇をとおせば、受け入れる方も受け入れますということだとおもいます。

司会 町内は勿論、県協、県明るい選挙推進協、四国四県の明るい選挙推進協会、副会長、研修会など、お蔭で、森下さんや私なども度々引っぱり出されなんですが、それにもま

にはほんとに困りました。松本Ⅱさんとふを覚えるのにはほんとに時間がないもの。第一覚える時間がないものですから、週刊誌をもってきてその間に台本をはさんだりして、本を見ていろいろなかっこうをして、次に云う自分のせりふを覚えよう……というようにやったんですよ。(爆笑)

いざ舞台にあがるのと今度のはばしてしまっ、自分は何をいうたのか、どんな

上池Ⅱとにかく選挙をしたら近所の家と行ききやうれたとか、そんな体験をさされた方もあると思います。隣近所の交際が四年に一回ずつの選挙のたびにやまると、道であっても、ものものしいという感じになりますからね……。結局、一人一人が自分の意見を出して、

私達青年もお互いに仲間意識を燃やしながら明正選挙を推進するよう啓発に努めたいと思います。

個人としても有線放送に動めておりますので、放送を通じて明い選挙の啓発を呼びかけていきたいと考えております。

大和11十二月号の本紙に住民大会の宣言決議がのっておりますが、過去の町議選などでは法にふれたや

もありまして、一人一人が自覚して一人一人ではなかなか打ち破ることはむずかしいと思うんです。だから、婦人会が対外的に、明るい選挙、を打ち出して、みんなで力を合わせて改善していきたいと思います。

司会 大変建設的な立派なご意見を聞かせていただき感謝致します。五十二年に発表した豊永地区婦人会の例が町内の方々に一つ

上池川私達が町行政に参加するためには、先ず知らないことから始めなければならぬ、住民は「知る権利」があると思ひます。町では燃えるゴミと燃えないゴミをより分けるための人夫賃を予算化しておりますが、昨年の夏は、暑いと異いので人夫がなく、役場の係がより分けに行くとい

られました。昭和五十一年からはじまった、豊永地区婦人会の寸劇「ハッスル婦人会」は、テレビなどマスのコを通じて県下、全国的に有名ななったんですが、連合婦人会長の大利さんからどうぞ……。

大利「参政権が与えられたのに、婦人の投票率は男性に比べて毎回低かったん

ん、なかなか大変だったと思います……。
山中「前にも『国際婦人年』の劇をしたので、今度が二回目なんです。テーマが『選挙』という固いものなので、面白くやってみよう」とみんなで話し合いました。それで舞台を女の人が一番集まり、いろんな話が出てくる美容院にしまし

自分には全然わかりませんでした。(爆笑)

司会 〓あちこちに出かけて上演するということは、家族の理解と協力がないとむずかしいと思うんですが、そこなところはどうなっているんでしょうか。

大井 〓どうせお前らのすることなんで大したことはないだろうと云われていたけれ

情にまよわされず、実勝にこそこの人はええ人という人を選びたいとおもいますネ。

松本「この劇をやっていたのも、過去のいくつもの選挙でものすごくイヤな思いをしたのが身にしみていたからなんです。その時に自分が感じたことが心の選中でありましたので次の選挙の時には何とかなって

研修会が違反について、強も深めましたので、議会と立候補予定者の説明会には婦人会の方から申し込みをしよう。候補者に絶対連犯を犯さないし、私連も犯さない」と云うことを二月の代議員会で町連合婦人会の意見として最終的に決定をして申し入れたいと思っております。

区で確かな足どりでこまめに進んできた。婦人会の提案は、春の川辺の「ねこやなぎ」の芽のように新春を迎えて町内のあちこちにふくらみはじめるんじゃないでしょうか……。『明るい町づくり』はきれいな選挙から……。本日はどうもありがとうございました。

轉換期に立つ

自治地方

整備され、町民は三・三人に一台の車（モーターを含む）を持ち、電話も有線を合わせて二・三人に一台位、テレビは各家庭に……といった具合で町民の生活圏も拡大し物質面では都会なみになったんですが、反面、精神的なもの（心）の方が失われたと云われますが……。

「入」を地域地域で時々計画し、処理場への送り迎えを
もじてもらって学習と実践に
よる町づくりをと婦人会の
力によるから役場へお願いしてあるんですが今年はその実
現するだろうか。
司会 相互理解の町づくり
は大変すばらしい考え
方だと思えます。自治体
で「住民参加」の問題が

です。これではいけない、婦人も自覚して正しい投票をしようと呼びかけをしたんですけど、今年こそはと頑張ってみてもなかなか実現できなかったんです。

た。また、道具も普通のも
 のでは面白くないので、農
 家の方から茶つみカゴを借
 りてきて、原子力ドライヤ
 ーと名づけるなど、また候
 補者の名前も「又落太氏」
 とか（笑声）「頭天はげ太
 氏」（笑声）「今度勝氏」
 （笑声）など面白く工夫し
 ましたので、固いテーマを
 ぶつたわりには面白いうも
 なつたと思います。

二云って笑いながらでも、今の社会では、こういうことをやらなければいけないんだと心を受け止めてくれて、互に協力もしてくれて、家庭の理解も十分だつたようです。亭主関白の家も多いかとも思いますが、女が必死にがんばって云えば、たぶんこの家庭でも影響力は大

山中国劇をやっているうちにそれぞれの自覚が高まってきたように思います。劇を演じた私達は絶対違反は出来ません。こういう小さな運動でも私達自身が行動しなければいけないんだという自覚といっしょに、なした私達がおこした啓発活動が、今年の選挙を明るくきれいにし、投票率を高めることに役にあたつたんだ

日を迎えた成人
しの該当者は140人

日」。今
年は昭和
三十三年
一月十六
日から、
昭和三十
四年四月
一日まで
に生まれ
た者で本
町の住民
基本台帳
に登録さ
れてい

と。組への加入が許されまし
ところで一人前の人間と
して認められた彼らの仕事
の量はどのくらいだったの
でしょうか。

農村では、男一人一日の
事は田一反（約一千平方
メートル）を耕すこと、女子はそ
の七分、八分が標準とされて
ました。そしてこの仕事
量は、各家庭や集落で実
的な労働力として期待さ
れたのです。今から考



は、昭和四十年代の中頃からです。これからの住民参加は、行政、ノ圧力団体主義ではなく、地域の問題を行政と協同しつつ解決して

し合うようにしていれば通
じるもんだと私は信じてい
るんです。各家庭に婦人会
があるわけですから女性

うに思います。

司会 大分お話しに熱が

ことしか
ら本町で
も学年別
で行うこ
ととなり

たといえるかも知れま
ん。



轉換

期に立

地方自治

どという返事をもらいま
た。皆さん家の商売もな
なか忙しいんですけれど、

ことが、みなさんの頭の土に少しでも残って、今年選挙が違反のない明る

式
名
一月
五日

ずかるようになりました。
女子は男子より早く十二

•

Age Group	Percentage
18-29	85%
30-49	80%
50-69	75%
70+	70%

Circumstance	Percentage (%)
If someone is attacking you	85
If someone is threatening you	75
If someone is harassing you	65
If someone is insulting you	55
If someone is annoying you	45

